財団法人　日本郵趣協会　九州・沖縄地方本部

九州・沖縄地方本部報 No.２

２００３．１２．１８

発行：財団法人　日本郵趣協会　九州・沖縄地方本部

設立からこれまでを振り返って

(財)日本郵趣協会　九州・沖縄地方本部
本部長　田畑　裕司

(財)日本郵趣協会　九州･沖縄地方本部が2003(平成15)年４月１日に設立されて８カ月が経過いたしました。ここに地方本部報の第２号を，お届けることができました。設立からこれまでを振り返ってみますと，当初の計画どおりに順調に滑り出しをしています。これも各支部の皆様方のお力添えがあった賜物と厚く御礼を申し上げます。

さて、４月１日の発足と同時に小島純二理事の編集で地方本部報の第１号を発刊することができました。５月10日には、第１回目の理事会を役員全員(代理を含む)で開催し、規約の制定と旧・西日本地方本部の事業報告および収支決算が承認されました。５月18日には、ホームページを正式公開することができ、アクセス数も半年で3千件を超えました。これも旧・西日本地方本部のホームページ管理者の椙山哲太郎氏との引継ぎがうまくいったことと、当地本のホームページ管理者である谷之口勇氏のご尽力の賜物です。その後、谷之口氏は故郷の鹿児島に戻られましたが、引き続き管理者としてお引き受けいただいております。ホームページでは、特に九州・沖縄におけるイベント情報の発信・記録と各支部報で気になる記事を紹介するコーナーを充実させていきたいと思っております。

次に郵趣イベントですが、７月に「筑後地方切手の集い」、８月に「東九州切手のつどい・べっぷ」、10月に「スタンプショウかごしま」と「スタンプショウはかた」、そして大分、熊本、小郡の各支部で切手展が開催されました。これらの様子は、ホームページを通じても報告されていますが、いずれも主催支部の皆様のご努力により、成功裡に終了いたしましたのは、喜ばしいことです。しかし、共通の課題もあります。若年層の切手離れにより、いずれのイベントも、ジュニアの出席者が少なかったことです。これについては、中長期的な目標を立てて、切手収集の愉しさを広く周知し、郵趣人口の増加を図る努力を

続けてまいりたいと思っております。

最後になりますが、下半期の大きな行事としては、平成16年２月22日(日）に「北九州切手の集い」(前日は前夜祭）を予定しています。是非ともご参加をお願いするとともに、皆様と一緒に活力ある郵趣の世界を築いていこうではありませんか。

なお、 本年度の支部認定で、「福岡第一支部」は「福岡支部」に,「北九州第一支部」は「北九州支部」に改称しました。本地本内の支部は、福岡・北九州・小郡・熊本・大分・別府・鹿児島の７支部です。

九州・沖縄地方本部　2003年度第２回理事会のお知らせ

標記の会合が下記の予定で行われます。詳しい案内は直接差し上げますが、よろしくご参加下さいますようお願い致します。

◎ 日　時　：　2004年２月２１日(土)　午後３時～５時

◎ 会　場　：　コクラセントラルイン(北九州市小倉北区古船場町1-1)

北九 州 切手の つどい'０４の お 知 ら せ

標記の会合が下記の予定で行われます。ご参加をお待ちしています。詳しくは、後日配布する案内書をご覧下さい。

前夜祭　◎ 日　時　：　2004年２月２１日(土)　午後５時半～

◎ 会　場　：　コクラセントラルイン(北九州市小倉北区古船場町1-1)

◎ 会　費　：　５,５００円　(宿泊者は１２,０００円)

◎ 内　容　：　会食，酔っぱらいオークション，交換会

※ 申込先　：　竹内辰夫(北九州支部)　電話093-931-6111

北九州切手のつどい'０４

◎ 日　時　：　2004年２月２２日(日)　午前10時～午後３時半

◎ 会　場　：　北九州中央郵便局(北九州市小倉北区)

◎ 会　費　：　無　料

◎ 内　容　：　講演，テーブルバザール，切手掘出市，お楽しみ抽選会

※テーブルチャージ料：１卓５００円

これまでの事業報告

１．≪筑後地方切手の集い'03≫　　7月27日(日)　　参加73名

7月27日(日)、福岡県小郡市七夕会館にて第５回筑後地方切手の集い'03を開催しました。午前10時受付開始でしたが、福岡･佐賀･熊本･長崎･大分の各県から73名の収集家が９時過ぎから参加されていました。

小郡郵便局の臨時出張所が９時過ぎに開設されましたので、早く来られた人たちは小型印を押印されたり展示されている切手のリーフを見たりして､時間を過ごされていました。10時30分から松井恒雄小郡支部長による挨拶のあと、小郡郵便局北原郵便課長の祝辞では、郵政公社化に伴う、翌日配達の範囲の拡大、小包の即日配達や閉庁時間の延長など、サービスの拡大について話された。

続く、九州･沖縄地方本部長の田畑裕司氏による講演「切手の愉しみは無限大」のテーマで展示されていたリーフを示しながら約１時間講演されました。その内容は、①ＪＰＳの組織刷新などについて。地方本部の再編、理事長以下役員の改選と日専カタログの大幅な変更があること。②現行切手の偽物の横行による影響。四国を発信源とする偽消切手は、判別がほとんど不可能であるため、これまでの単片満月印の価値を低下させてしまった。③面白いと感じたら何でも集める・・ゼネラルが基本、でもこだわらない。④第１時昭和４銭東郷の面白さ解説。⑤地方本部のホームページ開設。⑥国立印刷局銘版の最初期、速達書留にして置けば万全。⑦優美局から正式に発売された「無目打エラー」、印刷局から横流しされた「未目打」は本来別物。将来は評価も変わるかもしれない。⑧外国切手は国別、図案別でない別の切り口がある。など、あっという間の講演でした。

昼食休憩の後、テーブルバザール、切手掘出市を開催し、多くの人々で賑わっていました。テーブルバザールも９名の方から出店していただきました。

切手掘出し市も予想以上に人気があり、多くの方が欲しい切手を探していました。14時から盆回し交換会が始まり、数多くの

切手やエンタイアが出品され、15時40分までの予定が延びてしまうほど賑わいました。最後のお楽しみ抽選会は１等から６等まで25点の抽選を行い、当たった方は歓声をあげていましたが、外れた方にはフィラートコーナーかヒンジを残念賞としてお渡しして盛会のうちに16時過ぎに終了しました。

当日の会場の準備、撤去、テーブルバザールや盆回し交換会において、小郡支部の会員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。今年は小郡郵便局の臨時出張所も9時過ぎに開設していただき、小型印の押印ができよかったと思いました。

講演していただいた田畑裕司地方本部長を始め、小郡郵便局及びＪＰＳ小郡支部の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

２．≪東九州切手のつどい・べっぷ２００３≫　8月31日(日)　参加37名

８月31日(日)、別府郵便局にて開催しました。参加は37名とささやかでしたが、盛会だったと思います。

開会前からアオヤマスタンプさんが店開きをしており、既に盛況でした。

10時半、支部長あいさつの後、別府郵便局林敬三総務課長さんの来賓あいさつ。その後、九州・沖縄地方本部長田畑裕司氏の講演「切手の愉しみは無限大」が行われた。小郡での大会と重複する部分を除くと、①最近、インターネットオークションで熊本のセミプロのコレクション(熊本ボタや不統一印など)が良く出品されていること。②田沢切手で日本の５大コレクションの内３つが切手商の手元にあり、今後、珍品・希品を含む大量の品が市場に出てくるだろうとのこと。③３次昭和50銭に横透かしが複数枚出現したこと。④昭和切手は最大マルチプルの調査が今後の課題の一つであること。などが話された。

昼食後、お宝ゲット「紙付き切手掘出し市」、テーブルバザールも行われたが、参加者が少ない分少々寂しかった。

最後の楽しみ抽選会では、１等から５等まで全員がなんらかの賞品を手にした。

３．≪スタンプショウかごしま'03≫　10月11日(土)・12日(日)　参加250名

「スタンプショウかごしま 」も今年で６回目となります。会場はいつものＫＫＲ鹿児島敬天閣です。

今回は，奄美群島復帰50周年にちなみ，米軍統治下の奄美群島の郵便物を特別展示。丸検切手や大島葉書などの珍しいマテリアルが並び，NHKや地元新聞社も取材に訪れていました。支部では復帰後の奄美にちなむ切手類も展示し，また小型印も復帰50年を祝う意匠となりました。

会場では県内外の切手商や収集家によるブースが設けられ，また，恒例の「紙付き切手のつかみ取りコーナー」は今年も多くの人でにぎわっていました。

残念だったのは，開催史上初めて土砂降り混じりの雨天に２日とも見舞われ，そのせいもあったのか入場者数が伸び悩んだこと。特に小中学生が例年より少なく，奄美復帰関連の展示を多くの方に見てもらいたかった主催者としては，なんとも惜しい気がしました。

４．≪スタンプショウ・はかた2003≫　10月18日(土)・19日(日)　参加240名

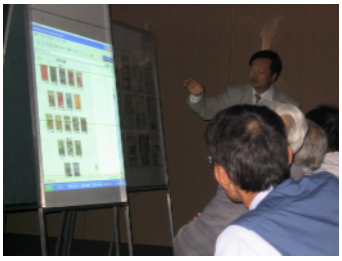
今年の会場は今春オープンしたばかりの福岡国際会議場でした。博多駅からは少し遠くなったものの、知名度は既に十分にあり、申し分ない会場です。

今年の特別展示品は全日展03で金賞を受賞された伊藤純英氏の「昭和切手1937～46」に２フレームを追加されたもの。賛助出品として、昨年に続き、澤口尚子さんの「楽し♪嬉し♪ビューティフルギャラリー」。企画出品として、村岡安廣氏の協力により「お菓子の切手」。これらは、いろんな切手の集め方・楽しみ方があると言うことを少しは伝えられたのではないでしょうか。支部会員の作品もいろんなテーマがあり、良かったと思います。

全九州ジュニア切手展の方は、残念ながら福岡県内からだけの出品。初日に開催しました表彰式も欠席の出品が多く、寂しい式となりました。新人の育成が望まれます。

初日５時からの特別例会は32名もの方に参加して頂いた。初めに東京から来福した郵趣協会ジュニア委員長の井上和幸氏によるバンコクでの国際切手展の様子をプロジェクターで投射しながら説明をしていただいた。また、「封筒の上には切手は何枚？」というワンフレーム作品を見せていただいた。０枚から始まり５００枚以上というとてつもない物などで構成されていた。中には３／４枚など切手を文字通り切った物まであって興味深い物であった。

その後は駆けつけた伊藤氏により招待出品「昭和切手1937～46」を先のプロジェクターを利用し説明していた



だいた。なお、この作品を含めこれまで伊藤氏が作成してきた作品を網羅したＣＤを全国に先駆け会場内で先行発売し、好評を博していた。特別例会終了後は１階レストランで懇親会を催し多数参加いただき郵趣談義が尽きなかった。

切手商ブースは過去最多の９店舗。初日は11時開会の前から人だかりが出来、終了時刻の５時になっても人の途絶えることがありませんでした。これは今までになかったことです。２日目はお客さんが少なかったものの、終了時刻の４時になってもやはりお客さんがいました。今回、会場を借りる関係で、ブース部分を借りる代表をパインスタンプさんにお願いし、快く引き受けて頂きました。感謝申し上げます。

博多局の方には、小型印２種の準備、年賀小型シートへの押印、臨時出張所の営業とよくしていただいた。ジュニア展の小型印デザインにふみの日50円を題材に描いて貰っているので、持参された記念切手類に今年のふみの日がなかったのが残念でした。

記念品と準備したのが、マイ切手と記念カバー類。マイ切手を澤口さんに依頼し40シートを作成しましたが、初日で完売しました。記念カバー類も澤口さんに作成して頂いた。封筒・カード・官製葉書と揃えましたが、大変好評でした。そのほとんどが初日でなくなり、２日目は極少数だけとなってしまいました。

２日間とも晴天でしたが、入場者は最終的には２日間で２４０名にとどまりました。会場が立派なだけにもう少し参観いただきたい気がします。ＰＲについてもう一工夫して参加者を増やしたいと思います。

４．≪熊本支部　秋の支部切手展≫　10月５日(日)～12日(日)

熊本城東郵便局において、10作品16フレームを展示しました。

来場者それぞれに興味が違い、多彩な関心を持って見ているようでした。支部の切手展としては水準以上で立派だと思う。競争展の基準を適用する必要はないものの、少なくともそれを知った上で、理想を追求する作品を作るべきだと思う。

５．≪小郡支部　国際文通・趣味の切手展≫　10月14日(火)～17日(金)

小郡郵便局において、９作品31フレームを展示する予定でしたが、局側との意思疎通がまづく。展示パネル不足からその一部が展示できませんでした。

期間中約150名の参観があり、熱心に見学をしたり、切手談義に花が咲いていたりしたようです。

パネル不足は敬老会への貸し出しであるため、来年は時期の変更を考えなければいけないと思います。

【全面広告】

ＣＤ－ＲＯＭ版

昭和切手蒐集

－伊藤純英コレクション二十六年の軌跡－

全日展2003で金賞受賞した全48リーフだけでなく、ＪＡＰＥＸ2002作品全128リーフ、ＰＨＩＬＡＮＩＰＰＯＮ1991作品全80リーフも完全収録し、その内容はほぼ原寸カラーで見ることが出来る。その他に、1979年以来の昭和切手の出品作品が様々な掲載紙の解説と共に収録されているので、昭和切手蒐集26年の変遷がすべて分かる。

インターネットのサイト「Ｊ－Ｓｔａｍｐ２０」では、このＣＤ－ＲＯＭについて、絶賛されています。その内容は次の通り(一部抜粋)です。全体は下記のＵＲＬでご覧下さい。

http://www1.neweb.ne.jp/wa/stamp/sumi.htm

これは「究極」の個人コレクション集である。「究極」ゆえ、抜粋を含めて、これまで伊藤が競争展に出品してきた殆んどの昭和切手作品を見ることが出来る。ちなみに、１９９１年のフィラニッポン、２００２年のＪＡＰＥＸ、２００３年の全日展の三作品については、オールカラーで全リーフを採録してある。(中略)

さらに親切なことに、伊藤は、これまで自身が雑誌等に発表した昭和切手に関する文章や、他人による評価といった資料をテンコ盛りし、作品をパノラマで俯瞰できるような仕掛けを作ってくれた。これによって、コレクションは臨場感を増し、その主張はより明確に鑑賞者に届く。このことは従来の写真集にはなかったアイディアである。(中略)　紙版での夢の実現、それこそが電子出版の特性を生かしたやり方であり、「郵趣文献の未来形」と本ＣＤ－ＲＯＭを位置付ける理由である。(中略)

伊藤のことを書けるのは、郵趣界広しといえども、長野行洋か田畑裕司しかいないが、長年の友である田畑裕司の書き下ろし「盟友伊藤純英君と昭和切手」が読めるのも本ＣＤ－ＲＯＭの嬉しいところである。田畑の伊藤に対する、時に距離をおいた優しさが、私にはひどく羨ましかった。(2003.10.12)

※このCD-ROMは、光学的なCD-Rでなく、物理的なCD-ROMプレス(一般的なCDの製作法)で作成されているので、100年単位での保存が可能です。

発行：九州郵趣連盟　　，制作：伊藤純英

定価：３,２００円(送料込み)

※今だけの特典！「九州郵趣」１年分が付いてます。

申込先：(送金方法は，現金書留か郵便振替にて)

〒860-0072熊本市花園5-5-17　九州郵趣連盟事務局

郵便振替　01970-0-22155　九州郵趣連盟

※サインが必要な場合は直接伊藤純英氏へ。

①郵便振替にて「01860-2-34770　伊藤純英」

②為替・現金等　〒859-1415長崎県南高来郡有明町大三東戊477番地

③インターネットにて　右のＨＰより　http://www.philately.jp/

支部報特別号の紹介

10月に「周南支部30周年記念誌」、11月に「べっぷ100号記念号」が届きました。各支部には、11月・12月に発送していますので、ぜひご覧下さい。

「周南支部30周年記念誌」は、カラー頁をふんだんに使った支部会員の投稿により編集されている力作です。１冊1000円で頒布中とのことです。欲しい方は周南支部に問い合わせてみて下さい。

「べっぷ100号記念号」は別府支部会報が100号に達した記念として発行されたもので、支部長の安部博之氏が整理されている別府市内の郵便局の概要をまとめられたものです。こちらは、図版のすべてをカラー印刷でまとめられていて、製本まで自作という力作です。

周南支部　〒745-0016山口県周南市若宮町1-49-701　渡辺政友　TEL0834-32-0206

別府支部　〒874-0825大分県別府市南立石八幡町６組　安部博之　TEL0977-23-0001

支部 報交換について

４月１日以降も旧西日本地本内の支部報交換は続けています。各支部の送付先は次の宛先です。出来ましたら、住所と名前だけでお願いします。「九州・沖縄地方郵趣連盟」と間違って書いてある支部もあります。

・小島純二　〒814-0111福岡市城南区茶山2-11-17　　へ10部

・古井　健　〒731-0231広島市安佐北区亀山2-26-3-10 へ14部

※中国四国地本管内支部からの分も含めて、毎月の例会前に届くように小島より各支部へ送付しています。発送時期にご希望がありましたら、遠慮なくお知らせ下さい。

編集後記　予定では12月１日に発行する予定で編集を考えたのですが、２週間ほど遅れてしまいました。４月にこの地本が発足して以来、昨年以上のイベントが開催できていることと思います。各支部とも成果と課題を明確にし次回に生かして下さい。◆ＪＡＰＥＸ2003が終了しましたが、九州・沖縄地方からの出品者はチャンピオン・クラス大金賞受賞「1843年英仏郵便交換条約による外国郵便」の村岡安廣氏(佐賀)、銀賞受賞「円単位動植物国宝1961－65」の永吉秀夫氏(鹿児島)、文献部門で私がいるだけのわずかに３人です。ちょっと寂しいですね。◆２月の北九州切手のつどい'04を成功させましょう。

発行：田畑　裕司　〒811-0216　福岡市東区上和白1336-1-1 ロワール5-809
TEL/FAX：092-673-1535，Ｅ-mail：tabatay@rainbow.plala.or.jp
編集：小島　純二　〒814-0111　福岡市城南区茶山2-11-17
TEL/FAX：092-851-0163，Ｅ-mail：tyasanjin@jcom.home.ne.jp
振替口座番号：０１７４０－９－１０６８９４，名義：ＪＰＳ九州・沖縄地方本部